

6月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和元年 6月 3日(月)

午後 1時 30分～

麻績村地域交流センター 第3研修室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水
委員 坂野かほり 委員 小山正文
出席職員 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫
教育長 飯森 力 次長 白井太津男 主事 佐藤克哉

一 開会(白井教育次長)

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。只今から6月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。お願いいたします。始めに、教育長挨拶をお願いします。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

あらためまして皆さんこんにちは。夏が来たように毎日暑い日が続いています。小学校も普通教室は空調が入っておりますので天候を見ながらうまく利用していただければ良いのかなと思っております。子どもたちの学習がうまく進むようにご利用いただければありがたいかなという風に思っております。本日は就学援助の認定の関係がございます。子どもたちが安心して学校生活が送れますよう、皆様にご理解を頂いて認定をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致し、開会のあいさつと致します。よろしくお願いいたします。

三 報告(進行 白井教育次長)

白井次長: それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教 育 長: お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

白井次長: 只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告をお願いします。

2. 学校長・保育園長報告

1) 保育園長報告(白井園長先生)

白井園長: よろしく申し上げます。(以下資料に沿って説明)

6月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和元年 6月 3日(月)

午後 1時 30分～

麻績村地域交流センター 第3研修室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水
委員 坂野かほり 委員 小山正文
出席職員 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫
教育長 飯森 力 次長 白井太津男 主事 佐藤克哉

一 開会(白井教育次長)

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。只今から6月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。お願いいたします。始めに、教育長挨拶をお願いします。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

あらためまして皆さんこんにちは。夏が来たように毎日暑い日が続いています。小学校も普通教室は空調が入っておりますので天候を見ながらうまく利用していただければ良いのかなと思っております。子どもたちの学習がうまく進むようにご利用いただければありがたいかなという風に思っております。本日は就学援助の認定の関係がございます。子どもたちが安心して学校生活が送れますよう、皆様にご理解を頂いて認定をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致し、開会のあいさつと致します。よろしくお願いいたします。

三 報告(進行 白井教育次長)

白井次長: それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教育長: お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

白井次長: 只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告をお願いします。

2. 学校長・保育園長報告

1) 保育園長報告(白井園長先生)

白井園長: よろしく申し上げます。(以下資料に沿って説明)

臼井次長: 保育園長報告につきまして、ご意見等ございましたらお願いします。

市川職務代理: 6月13日の筑北スポーツクラブのサッカー教室というのは具体的にはどのようなことですか。

臼井園長: 筑北村の方にスポーツクラブというものがありまして、筑北村の保育園には月に1回出向いてサッカーというかボール遊びのようなものを行っているということです。昨年にも1回やらせていただいたのですが、サッカー教室となっておりますがボール遊びの延長ということで、最終的には2チームに分かれてサッカーができるというようなところまで持っていくということです。ただ小さい子は出来ないのを見ていてということなので大きい子を対象にしています。

市川職務代理: 小学校、中学校の基礎は本当に保育園だなどしみじみ感じています。サッカーだけでなくバスケットだとかバレーはどうなるのかとか、野球はどうなるのかとか考えるとサッカーだけ出てきたのでお聞きしました。最終的には中学校の部活にどう繋がっていくかというようなことを考えると、保育園でもいろんな体験をさせていただけるとありがたいなという思いでございます。

坂野委員: お散歩のコースですけれども、信号待ちの事故がありましたけど麻績保育園も高速の信号前まで出ていくかと思いますが大丈夫ですか。

臼井園長: 高速から降りてくるところにガードレールがありますのでそちらに避難しています。反対側につきましてはガードレールが無いものですから、事件の時と同じようなかたちになりますけれども、道路から離れて反対側の方で待機するというような形になります。ただあそこは直線であったりするのでどうかなというところでは。

塚原委員: すずらん組のお便りにも書いてありますが、裸足で泥遊びをしているということで今日保育園のサポート会議で見させていただいて、とても素晴らしいことだと思いました。園の中で小石などがほとんど無いくらいきれいな中で子どもたちが裸足で飛び歩いていて、大人の私たちも裸足で土の上に降りられなくなっちゃっていると思います。ところが子どもたちが小さい時から裸足で歩いたり、裸足で竹馬に乗ったりして本当に胸を張って威張ってもいいくらい素晴らしいことやっているなと思いました。小学校でも昔は草履やスリッパみたいなものを履かせて、裸足で夏場を過ごさせる学校もありましたけども、裸足というのは素晴らしいなと思って見させていただきました。

臼井次長: その他にございますか。

市川職務代理: 図書館の方から情報で読み聞かせなんかは、保育園の保護者に皆さんが大勢参加してくださるようになったという嬉しいニュースを伺ったのですが、これはとてもいいことだと思います。保育園の頃からこういったことをしていると、小学校の保護者になった時も保護者として小学校の色々な活動にどう参加するかという視線が出来上がってきていますので、教育長さんが心配していますが、一生懸命皆がやっても肝心の保護者が何も動かないじゃないかというご指摘がありました。保育園の頃からやりだすと違うなということをお聞きしました、園長先生の方から特別に強い働きかけがあったのですか。

臼井園長: 特に働きかけはしていませんが、保護者が自主的にやってくれました。なお読み聞かせの記録と予定につきまして落としてしまいましたので隔週でやっていることを報告させていただきます。

市川職務代理: きっと表立ってはなさらないでしょうけど、何らかの形で上手に保護者に働きかけが行われたのかなと思っていますが、保小の連絡会で上手に小学校の方にも繋げてほしいと思いました。

白井次長: その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、学校長報告をお願いします。

2) 学校長報告(福田校長先生)

福田校長: お願いいたします(資料に沿って説明)。

白井次長: 学校長報告につきまして、ご意見等ございましたらをお願いします。

塚原委員: 今年の田植えに関して、JAの方が升目を水を減らした中にきれいに線を引いてくれて、今年も5年生は3本植えというのを丁寧にやってくれて去年は二箱足りなかったけれども、今年は余るほどになったということで子どもたち丁寧に植えてくれて秋の収穫が楽しみかなと思いました。どこで学習するかですが稲の水の加減を毎日見ながら、田んぼの稲に声をかけながら自分たちで管理できる力がつけばいいなと思いました。

福田校長: ありがとうございます。報告を落としましたが、27日に田植えをさせていただいて、目教育長さんと明水先生にお支え頂いて、おかげさまで何とか今年も田んぼの活動が始まりましたので今後ともよろしくお願いいたします。

小山委員: 小学校の陸上大会は中信地区なので当然塩尻市や松本市といった都市部の学校も出ていると思いますが、そういった中でベスト15というのは結構上位と考えてもいいですか。

福田校長: そうですね。思っていた子が入れなかったり、種目の選択にもよるかなと思っていたんですが、躓いてしまってダメかなと思っていた子がトータルしてみたら入れたりということで、そこら辺の感覚は難しいなと思います。小さな規模で頑張っていて今年は割と練習も少なめだったような気がします。その中で発揮できて、幸運にも恵まれてそういった舞台に立たせていただけるということは本当に恵まれているなと思います。

市川職務代理: 麻績小学校の一番の問題点は今の2,3年生が極端に少ないということなんです。5人しかいない子どもが6年生になったけど同じ体制が組めるのか、5人しかいない子どもが5年生の時の状態はどうなのかなど、そういった学校運営全体に関わったことが一つと、5人しかいない学年の子どもたちの中に「おれたちは何で5人しかいないんだ」、「なんで俺たちがこんな目に合わなくちゃいけないんだ」とか、普通の子だったら開き直ってやっていけるからいいけれども、結局自己中心的に強い思い込みで、なんであの子は私立の子に行くのに俺は公立の学校なんだということをずっと思い悩んでコンプレックスになってということ进行分析している心理学者もいました。親が子どもを殺してしまったというのも、私は親の気持ちが分からないでもないんですが、子どもにとっては自分は現実の世界では引きこもりなんだけれども、ネットの世界ではこんなに活躍しているんだという非常に強い自意識があったようです。自分の中に閉じこもって思い込みがすごく強くなっていくという子どもの小学校時代の扱いというのが非常に大事だと思っています。その上に立って今、5人しかいない学年の扱いがこれからも大きな課題になってくるのではないのかなと思います。それがある程度の見通しを立てて頂けると、中学

校は3学年しかないから3学年しかない中の2、3年生が5人と10人という年、3年生が5人しかいないという年、ただでさえ周りが騒がしい中で子どもたちがのびのびと生きていくにはどういうことを小学校のうちに手を打っていけばいいのかということをごどこかで教えて頂きたいと思います。そのために教育委員がお手伝いできることがあれば遠慮なく申し付けて頂きたい。そんなことをしみじみと感じていますのでお願いを申し上げます。

福田校長: すぐに答えが出せる訳では無いんですが今なるほどなあと思ったのは、子どもたちが困ったとか、困ってます助けてくださいという声を上げるということも一つの力なんだということの時折触れることが出てきました。麻績の子どもたちは開かれていて、そういうことについて変なこだわりを持ったり、内に向かってしまうのではなくて、自分達の人数が少ない時に「困っちゃったから助けてよ」と言える子どもたちだと思いますし、そこを学習面でも特に分からないから助けて下さいという部分を表現できるというか、動ける力をつけていく、大事にしていくことじゃないかなと思います。実際にはご心配いただいている学年も前後の学年と一緒に授業を持つ機会がかなり増えてきていると思いますので、5人で生徒会を担わなくてはいけないという時に自分たちの後輩に「困っちゃったから助けてよ。」と僕たちの力だけではと意固地になるのではなく、そこをさらけ出して力を発揮してもらおうというのも一つの大きな力なのではないかと思います。学習でいえば先生だけではないんですが、ここが分からなくて困っているんですということを発信できる力も、つまづいたり迷ったりした時に周りに投げかけて巻き込んで解決することができる力ということをご大事にしていくことじゃないかなと思います。小学校はとにかく純粋で天真爛漫な子どもたちですので、そういうことは比較的しやすいのではないかと思います。中学校に向けてというところではそういったところをご大事にしたいですし、学習面についてはすぐにでもそういう環境を作ったり、本人の意識を育てていくことも大事にしていきたいなど、すぐにはお返事できるわけではないですがそういったことの延長線上に子どもたちの力で乗り越えていけるというヒントがあるんじゃないかと私なりには思っています。今後に向けてまだまだ学校の動きが必要になるかと思っておりますので、またご指導いただきたいと思っておりますがよろしくお願いたします。

市川職務代理: ありがとうございます。非常に参考になりました。授業を見せていただいて、宮入先生も子どもたちのことを本当によく見ているなと思いました。例えば算数をやっていましたが、「この子ののり付けにはこういう点で抵抗があるな」という所まで見極めて、「ここまではこの子ののり付けを助けてあげて皆が揃うようにしよう」とか、非常に細かい所まで見抜いているなと感心しました。今の校長先生の話でさすがいい見通しを持って、そういった力は大事だと思います。発達障害の抵抗のある子どもというのはどうしてもこだわってしまうので、それが私どもに見抜けなくて中学生なり大人なり社会に出していくと、ああいった結果になるのかなということをご思う時に、本当に閉じこもってってしまう子どもに対して何をどうしておくか、今助けてくれというのを小さなうちから非常に大事な力だなと感じました。

臼井次長: その他にいかがでしょうか。

坂野委員: 北部吹奏楽の発表が秋にあると思いますが、生坂の中学生がすごく少人数だった年が

ありまして、他の中学や小学校が大勢でやっている中でその中学生の5、6人だったと思いますが、全然違う形でバンドみたいな形でドラムをやったりで枠にはめられていない発表でした。私たち保護者は、あの人数でどうやってできるんだろうなとドキドキしたり、かわいそうかなと思ったりしてしまっただけですが、その後一人のリーダーの子が最後にあいさつした時にすごく堂々と「僕たちはこの人数だけど、楽しんでこの日のために練習してきました」といった時に、すごい拍手が巻き起こって皆感動したと思います。私も涙が出るくらい感動したんですけど、少人数だからこそ枠にはまらない自分たちの色を出そうという力が出てくると、こんなにも人を感動させる事が出来るんだと思ったので、今の2年生たちも絶対そういった可能性はあると思います。小学校の時は大事で先生たちもたくさん気にかけてくださって、宮入先生を始め大勢の先生で支えてくださっているのも分かっているんですけど、校長先生が今おっしゃったように自分たちから発信できる力が湧き起これば中学になって女風に自己表現できるのではないかと期待をしています。緑の日の話ですが、校長先生が良い伝統が生まれたと何回もおっしゃってくれて本当にここ何年かで緑の日だけじゃなく、朝のマラソンもそうですけど先生方が良い伝統を気づけるキッカケを作ってくださいんじゃないかなと思っています。そんな中でこの6年生も5月の緑の日に6年生になりたてで学校を背負っていかなくちゃと、たった2か月でこれだけの力を発揮できるのは、その前の5年生の時だったりそういう時からの先生たちの自覚させるキッカケをたくさん作ってくださいましたからじゃないかなと思っていますので感謝でいっぱいです。

[Redacted text block]

[Redacted text block]。図工の時間のワクワクさせる雰囲気も良かったと思いますし、2人体制で先生いらっしゃいますが本当に細やかに一人一人について順番に見ていたのも、どの子も安心して工作に取り掛かっていられてすごくいい雰囲気だなと思います。おみっこなんですが、おみっ子応援団の私もすごい心配していて、昔遊びの方ばかりにご苦労かけて読み聞かせとかいろいろありますがご尽力いただいている、いつかどこかで若い人たちをとっていました。中々皆さん忙しくて形にならなかったんですけど、

[Redacted text block]

、保護者でもこんなに一生懸命考えて実行しようとする方がいて、本当に心強く思いました。なのでまた学校の方から声をかけて頂ければと思います。

臼井次長:その他によろしいでしょうか。それでは、協議に移ります。

四 協議(進行 飯森教育長)

1. 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

教育長:それでは、県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について説明をお願いします。

臼井次長:お願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

教育長:このことについて、何かご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、次に進みます。

2. 令和元年度 就学援助対象児童の認定について

教育長:令和元年度就学援助対象生徒の認定について事務局説明をお願いします。

臼井次長:お願いいたします(以下、資料について説明)。

※ 認定結果につきましては個人情報になりますので、一般公開する時には伏せて公開いたします。

教育長:このような認定結果になりましたが、よろしいですか。

全 員:(了承)

教育長:それでは、次に進みます。

3. その他

1) 各委員から

教育長:それでは、委員の皆さんから何かございましたらお願いします。

小山委員:川崎で児童殺傷の事件があってその中でコメンテーターがいろいろ言っていたんですが、その中で逃げる訓練が必要じゃなかったかということで、麻績村でも安心の家ということで何軒かお願いして看板を出したりしていますから、いざという時に不審者が現れたときに逃げるということもどこかの中で判断していただければと思います。特にこういう村では今はまだ比較的に日が長いですが、秋から冬にかけては暗い中少人数で1人なり2人で帰ることも多々ありますので、そういう部分も含めていただければと思います。

教育長:今はあのような事がどこで起きるか分かりませんので、ぜひ気を付けて頂きたいと思

ます。特にバス停などを下見をしてあったそうなのでその辺も考えながらですが、そうかといってそれを毎日確認するわけにもいきませんので、子どもたち十分な周りの人できるだけやるようお願いしたいと思います。

市川職務代理: 麻績小学校はフェンス等で囲まれていないことで、特に図書館の裏は白線一般で学校の校地と村の公地が分かれているという学校なので、そういう中における防犯体制をどうするかというのは時折検討していただく必要があると思うし、そういうことについて教育委員会にこういった努力をとということがあればご指摘いただければと思います。

教 育 長: 図書館の方もセキュリティの関係を詰めていきたいと思いますが、小学校は今鍵をかけていますか。

福田校長: 鍵までは難しいですが、職員が回ってなるべく戸を閉めるようにして、閉まっているだけでも怪しい人たちの心理的なものには繋がるだろうという所です。さすがに締め切ってしまうわけにはいけないので、動線を事務室前に一本化ということになるべく考えて働きかけていきたいと思います。完全にということは今の感じでは難しいかなと思っています。

教 育 長: 他によろしいでしょうか。それでは、次に進みます。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局からおねがいします。

臼井次長: 委員会等の名簿についてお願いいたします(以下、資料について説明)。

市川職務代理: さっそく対応していただきありがとうございます。それにしても眺めると課長が1人違うだけという感じでありまして、ぜひ今度は中学が村立になるにあたって検討していただけたらと思いますが教育委員会に関わる委員会についても全部見直していただいて好ましい形でやっていただけたことを期待しております。

教 育 長: また検討していきたいと思います。他にありますか。それでは私の方から二点ほどお願いいたします。まず教科書採択の関係でお願いいたします(以下、資料について説明)。もう1点50周年記念ということで11月に予定しているわけですが、その部分について資料等の洗い出しの関係で学校の方と詰めております。教頭先生と校長先生にお願いする中で資料的なものがあるかどうかとか調べる中でやっております。できれば6月中旬に皆様のご都合のいい時間を設定して1回開きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。11月8日の日に予定をしております。多分午前中になろうかと思っておりますので日程の方は取っておいてほしいと思います。その中で子どもたちの関わりとかいろいろな部分が出ていますのでそこら辺は学校長としっかり調整をしていきたいと思っています。なお冊子を作るということでございますが30周年やってありますので、残りの20周年部分をしっかり作っていけばいいかなということで資料と写真があるか確認をさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。それでは次回の日程に進みます。

次回の定例教育委員会の日程 7月1日(月) 午後1:30～

教 育 長: それでは、閉会に移ります。

五 閉会(臼井教育次長)

長時間にわたりありがとうございました。只今をもちまして 6 月の定例麻績村教育委員会を閉会いたします。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には伏せて公開いたします。

麻績村教育委員会会議規則第 19 条により署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

調整職員